



# 森のなかま

2012年 5月号

NO.49 (継続194)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明  
〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102

平成24年度\*第1回 ブラシュアップ研修を行いました。  
4月15日(日)

(公財) かながわトラストみどり財団 古舘 彩子



心肺蘇生：胸骨圧迫 30回と人工呼吸 2回を1サイクルとして、  
AEDが到着するまでの間継続します。

年度初めとして、ボランティア活動中の緊急時にすばやく対応してもらうための救命救急を取り上げ、今年度から「県民参加の森林づくり」と「森林づくり体験講座」の活動へAEDを携帯することになりましたので、その取扱い方と昨年12月に変わった心肺蘇生の手順を覚えてもらう内容です。講師として日本赤十字社神奈川県支部の勝俣さんのほか4人の先生にご指導いただきました。

当日の参加者46名は午前中の講義と午後の実技を一通り学んだ後、実技の効果測定と筆記試験を無事にクリアして「修了証」がみなさんの手元に届けられました。

救命救急は講習を一度受けるだけでも、緊急時の心構えが違ってきます。さらに、何度か講習を受けていくと落ち着いて対応できるようになっていきます。「いざ」という事が起こらない・・・これが一番の望みですが、ボランティア活動中に「いざ」が起きてしまった場合、その命を救う事、怪我の応急処置で痛みや不安を取り除く事が素早くできるのは、側にいる指導者となります。ぜひ機会のある時は救命救急の講習を受けて「いざ」という時に落ち着いて対処できる指導者へステップアップしていただきたいと思います。

今年も、みなさんの知識と技術を身につけるお手伝いをしていきたいと考え、あと2回の研修を予定しております。ぜひご参加ください。

写真提供：(公財) かながわトラストみどり財団

# やどりき水源林の魅力をもくの方に

やどりき事業部会 飯沢 恒

私たちは、かながわ森林インストラクターの会の活動拠点としてのやどりき水源林を良く知り、その魅力を多くの人に伝え、且つその保全に取り組む活動として調査活動、案内人活動、成長の森巡回活動、経路等巡回活動を行っています。

## 1、森の案内人活動

4月～11月と3月（12月～2月は冬期休業）の土曜、日曜の午前・午後の2回にやどりき水源林の来訪者に散策路、成長の森の案内を行っています。夏休み期間中は家族連れを対象に水生生物の観察会を行っています。また、これとは別に月2回散策路、成長の森への経路の情報収集活動を行い、掲示板で季節毎の見頃・見所の情報を来訪者に提供しています。

更に水源林からの情報発信活動として水源林内の最新の情報を取材・編集し、年に10回（12月、1月は休刊）「水源林ニュース」を発行しています。  
<http://www.forest-kanagawa.jp/yadoriki.html>



森の案内人研修

水源林を訪れた方達に、より良い案内が出来るように毎年新年度が始まる前に案内人を対象に説明会を開催しその年度の活動内容を「活動ガイド」を基に周知しています。そして、説明会の後に施設、散策路の清掃を行っています。

新たに案内人として当番を担当することになった者には案内人研修を行い「説明ガイド」を基に来訪者に対する説明内容を体系的に学んでもらい、その後全対象コースを約5時間歩いて自分の足で確認して貰っています。

## 2、調査活動

やどりき水源林の生態を知ることと森の案内人活動に活かして貰う事を目的に、水源林内の植物、動物、土壌動物、水生生物の調査を行っています。

昨年度の植物調査では4月～2月の日曜または水曜に散策コースの植生、寄沢・雨山峠コースの植生、シダ、キノコ、ブナ、冬芽の調査を行いました。また、掲示板展示用の資料を作成し展示しました。また、希少種についてはラン科を中心とする希少種7種の定量的調査を行いました。

動物調査では水源林内の野鳥、昆虫を中心に生き物全般について調査を行いました。また、ムササビの巣箱の破損状態の調査、夜間観察を行いムササビの飛翔が確認できました。



案内人説明会後の清掃開始



森の人気者・モモンガ兄弟

土壌動物調査では水源林内の石の下、朽木の下の調査を中心に行い26種の生物を発見しました。初めて見るものが2種ありました。



キノコ調査風景



調べ方は肉眼で見える虫を採集しルーペで観察するハトソテイング法で行っています。



ナミウズムシ

幾つに切っても全部再生する不思議な生物・目が可愛いと若い女性に特に人気があります。

水生生物調査は広場前寄沢本流、水棚沢・寄沢合流地点、林道コースの後沢の橋の上下流、林道コース癒しの森内の調査を行いました。また、県・環境科学センターが主催する「水源環境保全・再生調査」の水生生物の室内研修、現地研修に参加し技術の向上を図りました。また、「水源林の集い」には例年ブースを出しています。

以上のような調査を森の案内人活動に活かすために4月8日に調査活動報告会を行い植物、動物、土壌動物、水生生物の調査結果を、豊富な写真を交えて報告しました。この報告会には大勢の方が参加し盛況でした。聴講した皆さんは水源林についての様々な知識が吸収でき、水源林を訪れた方達により良い案内が出来るものと思います。

### 3、巡回活動

平成19年度から始まった成長の森は現在39区画あります。毎月、成長の森全区画、各施設について巡回、軽微な補修、刈払い等の保守点検を行っています。巡回にあたっては、森全体の観察、苗木の生育、下草、植生保護柵等各種設備の状況、動植物について調査、各区画と定点観察樹の写真撮影を行っています。

経路等巡回では、毎月、散策路の3コースを巡回、軽微な補修の実施と定点及び補修状況の撮影と報告、また落枝・転石・木の根など歩行障害物の除去とゴミ収集を行っています。

巡回保守点検内容については、月次定例報告及び緊急時速報により松田町森林組合経由で県に報告書を提出しています。

以上、私たちはやどりき水源林の魅力を多くの方々に伝え、この貴重な水源林を守る活動に理解と協力を頂くことを目的に活動しています。多くの皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

写真提供；井出恒夫様・小野幸弘様・須永 勲様・黒澤 隆 様  
飯澤 恒様



経路巡回で水路の補修



成長の森巡回で倒木処理

## 私の認識

## 野鳥その98

高橋 恒通

“フクロウ目フクロウ科の野鳥”の今日は留鳥  
または、漂鳥のオオコノハズク（漢和名：大小葉木菟、英名：Collared Scops Owl、体長L=24 cm）についてご案内いたします。

我国で観察できるフクロウ科の野鳥の中では、シロフクロウ以外の全ての種は♂♀同色もしくはほぼ同色と言われる通り、オオコノハズクもその例外でなく全く同色です。その色合いは大変に複雑で説明しづらいのですが、全身を、黒褐色、灰黒色、淡橙色、そして白色が斑状に入り混じっています。

虹彩は♂♀共に橙色ですが、♀の方がやや黄色がかって見えるそうです。

棲息環境は平地から山地の林の中、行動様式は、非繁殖期に1羽での行動で昼間は樹洞や茂みの中にじっとして休息状態、そして夕暮れから活動を始めます。

採食場で主にネズミ類を、その他はイモリ、カエル、昆虫類、眠っている小鳥などと言われています。

啼き声はコノハズクとは大違いで、竹筒を吹いた様な低い声で、「ポーウ、ポーウ・・・」と1分近く発音をするそうです。これは夜間や繁殖期の♂の声で、♀はネコのように「ミャー」と鳴くそうです。

オオコノハズクは北海道から沖縄、先島諸島まで全国何処でも観察可能な野鳥ですが、滅多に観る事の出来ない野鳥であると私は認識しております。



オオコノハズク

私自身、伊勢原を中心に20年以上あちこちの探鳥会に参加したり、会を主催したりしていますが、残念乍らオオコノハズクには一度も遭っておりません。

神奈川県下でも観察記録は少なく、然も留鳥なのに何故か冬期に偏っていると言う興味深い特長を持っています。私も是非とも伊勢原市内でこの野鳥に逢いたく思っています。それも少し警戒して羽角（耳角）を立てた姿を・・・。

フクロウ科の野鳥の最後は留鳥のリュウキュウコノハズク（漢和名：琉球木葉木菟、英名：Ryukyu Scops Owl、体長L=22 cm）です。

♂♀同色、コノハズクやオオコノハズクと似た複雑な体色ですが、全体が灰色味のある褐色、顔盤もコノハズクに似ておりますがやや灰色味が多いそうです。



リュウキュウコノハズク

虹彩はコノハズクと同じ黄色ですので、棲息域の重なるオオコノハズクとはこの点で見分けが出来ますが、渡りの途中のコノハズクとは識別困難と言われております。

棲息環境はオオコノハズクと同じく平地から山地の林です。

行動も夜間に昆虫やヤモリなどを採食するので似ています。

鳴き声は♂が「コホッ」♀が「キュア」と一声づつ区切って発生するそうです。そしてオオコノハズクと識別できるもう一点は、脚の指まで毛の生えているのがオオコノハズク、毛の生えてないのがリュウキュウコノハズクです。

棲息領域は名前の通り地球上で琉球列島や先島諸島に限られる狭小な地域のみと私は認識しております。

図鑑によっては、“セレベスコノハズク”の一亜種としてリュウキュウコノハズクを記載しているものもありますが、研究が進み現在は亜種でなく独立種として分類されております。

尚、フクロウ科には図鑑によっては迷鳥としてセレベスコノハズクやキンメフクロウを載せているものもありますが、私の独断と偏見でカットさせていただきます。

## &lt;参考資料&gt;

- ◎日本の野鳥、山溪ハンディ図鑑7、写真・解説 / 叶内拓哉、分布図・解説協力/安部直哉、解説（鳴声）/上田秀雄、山と溪谷社
- ◎鳥630図鑑、財団法人 日本鳥類保護連盟
- ◎かながわの鳥図鑑、神奈川県

- ◎イラスト オオコノハズク  
リュウキュウコノハズク  
大塚晴子（広報部）

## 活動短信

11/26~4/12

## パートナー林保全活動

## (森林セラピーとクリスマスリース作り)

**日** H23・11月26日(土) 10時~15時  
**場** やどりき水源林・集会棟  
**参** 日揮(株)社員と家族 11名  
**スタッフ** 日揮(株)佐藤恭平様(1期)  
**県** 自環保 水源の森林推進課 内田様  
**イ** L高崎④、宮下⑩、

★午前、いやしの森・延寿の森等でセラピー体験、  
 ★午後、集会棟横作業スポットで、クリスマスリース作りを行った。毎度ながら、全般的にアットホームな雰囲気の中、楽しく充実した活動が出来た。

午前の森林セラピー体験では、「自然・森林との関わり方・ふれあい方として、こんなすばらしい世界があることに感動した。若い女性に、もっと呼びかけたらよいと思う。」という特別なメッセージを寄せていただいた参加者もあった。

午後のクリスマスリース作りでは、一人ひとりが、真剣に取り組み、最後に、写真撮影まで楽しんだ。

(記 4期 高崎)

## (財) かながわトラスみどり財団

## 県央地区推進協議会「平成23年度緑の研修会」

**日** H23・11月30日(水) 8時50分~17時  
**場** 県立21世紀の森・大雄山最乗寺  
**参** 一般県民 51名  
**スタッフ** (財) かながわトラスみどり財団  
 県央地区推進協議会 金村様他3名

**イ** L高崎④、松本⑧、杉崎⑩、鳥飼⑪、  
 午前、バスにて県立21世紀の森へ出かけた。車中では、21世紀の森の概要を話した。到着後、約90分間、参加者を4班に分け、ドングリコース中腹から上部、天然の森コース登り口下部林道で自然観察を行った。21世紀の森の概要・森林の種類・森林保全の必要性に留意して案内した。

午後、再度バスで大雄山最乗寺へ向かった。ここでも充実した見学・観察が出来るよう、大雄山最乗寺の事前説明を盛り込んだ。到着後、約90分間の自由行動の予定だったが、ほとんどの参加者がインストラクターの案内に参加されたので、杉の大木等植生や最乗寺にまつわる歴史についての説明をした。

事後の感想・アンケートの内容ともに、インストラクターの講話・説明・さらに取り組み姿勢について、良かった・すばらしかったとの評価を得た。事前からの担当者の熱心な取り組みに応えるべく工夫・努力したかいがあった充実した一日だった。

(記 4期 高崎)

## 広葉樹のもやかきとナンづくり

**日** 3月3日(土) 9時~15時 晴れ  
**場** 小田原市いこいの森  
**参** 小田原市民 25名(大人10名、子供15名)  
**スタッフ** 小田原市森林組合 佐藤様他2名  
**イ** L村井⑨、落合③、加藤⑧、大塚⑪

粉を練りナンの生地作りをした後、炭や薪を知らない年代の人に里山を理解して頂けるよう村井リーダーが手製の紙芝居を使って話をした。クヌギの広場に移動して各班に分かれ、鋸の使い方を説明した後、もやかきと40cmの長さに切って薪を作る作業を行った。

最初おそろおそろやっていた低学年の子も鋸に慣れ作業にはまっていた。昼食は発酵した生地を麵棒で伸ばし、焼いてナンを作りカレーをつけて食べた。

午後は薪割と薪をタガで縛る作業をした。薪割は最初お父さんが行ったが、上手く出来ないのを見て、高学年の子が挑戦しだすと共に子に引きずられるようにお母さんも挑戦しだした。低学年の子は薪を集めタガにはめ込むことに興味を示していた。

参加者の感想は色々な体験をさせて頂き有意義な活動であったと書かれていた。(記 8期 加藤)

## 森林散策

**日** 3月6日(火) 8時50分~13時50分 曇り後晴  
**場** やどりき水源林  
**参** 川崎市立日吉小学校5年生126名  
 教師、保護者9名、合計135名  
**財** 古館様 粂山様  
**イ** L松山⑩、井出①、友谷①、渡辺③、宮本④、高崎④、斉藤⑥、黒澤⑧、小沢⑨、村井⑨、海野⑩、杉崎⑩、赤崎⑫、

天気は前日大雨、翌日は雨、スタート時には雨も上がり、昼にはぐんぐん気温も上昇し、晴天と相成りました。

全体的に足元に注意する場所が多かったのですが、子供たちが「カエルの声がある!」と教えてくれたり、満開のミツマタの花に触ってみたり、木の橋を落ちないように歩いたりして始終、探検隊ムードでした。水源林ってわくわくするね!という声が一番嬉しかったです。また、今回がデビュー戦と言うことで、他のインストラクターの方には沢山のご指導、ご鞭撻を頂きました。改めて感謝いたします。ありがとうございました。(記 12期 赤崎)

## パートナー林保全活動 タカナシの森

**日** 3月17日(土) 9時~16時15分  
**場** やどりき水源林 タカナシの森<いやしの森>  
**参** タカナシ乳業(株)社員と家族29名  
 (申し込み40名)  
**イ** L草野⑧、高崎④、若林⑦、時田⑩、宮下⑩、福島⑪、

早朝から降雨のため活動内容を変更。タカナシの森整備活動を中止し、午後に予定していた「森林いやし体験」と「いやしグッズづくり」・「クラフト」を繰り上げ実施することにした。

初参加者が大半でもあり、まず、タカナシの森<いやしの森>へ案内し整備状況等の説明をしたあと記念撮影。その後3班に分かれ、それぞれ活動を行った。

(午前)

### ① やどりき水源林のいやし体験

しとしと降りそそぐ冷たい春の雨にもかかわらず、針葉樹の僅かなフィトンチットやクロモジの香り等を感じながら林内を散策した。雨の中でも「森は良かった」との声も聞かれ、雨中の「森林いやし」にも理解を頂いた。

### ② いやしグッズづくり

集会棟の2階で、ヒノキの香りを嗅ぎながら、「香り袋」・「香りのしおり」を作成した。また、呼吸法・樹林気功など森林いやしの疑似体験を経験してもらい、屋根に落ちる雨音を感じながらの楽しいひと時を過ごしていただいた。

### ③ クラフト

「森林いやし」にも留意しながら実施した。

・「クロモジの楊枝づくり」は集会棟1階で行われた。クロモジの樹木とクロモジ楊枝の使われ方などの説明のあと、ナイフを器用に使い楊枝づくりに励んだ。室内いっぱい広がるクロモジの香りに感嘆の声が聞かれた。

・「ヒノキのコースターづくり」は子供に交じって大人も丸太切りに汗をかき、焼きごての刻印にも喜んで頂いた。

(午後)

### アサヒビール工場見学

毎年、パートナー林保全活動の企画を頂いているタカナシ乳業様様に感謝し、今後も早めの企画を頂き、タカナシの森の整備に微力ながら協同していきたい。

(記 8期 草野)

### 間伐 除伐作業

日 1月14日(土)

場 森戸川源流

参 二子山山系自然保護協議会メンバー 約20名

イ L安部⑤、竹島③、小笠原⑩、

今まで協議会メンバーのみで森林の手入れを行っていたが、指導をしてほしいという依頼が財団にあり、担当することになった。事前下見で活動箇所、道具、メンバーについて詳しく確認を行った。逗子駅から徒歩30分、海の町にこんな山や川があったことに驚く。

12月の予定が天候のため、1月に変更になり参加者が心配であったが20名近く集まって頂いた。今回は特に安全に作業を進めるためのポイント等を中心にリーダーが説明をおこなった。

2班に分かれ午前中、間伐と除伐作業をおこなった。今までと違った手順や方法に驚かれたり、安全の再認識もされていた。

都市近郊の自然がいつまでも手入れをされ残されていくことを祈りつつ後にした。新緑の時期にまた訪れてみたいところだ。

(記 10期 小笠原)

### あーすぷらざ 春のプログラム もりあそび

日 3月25日(日) 10時~15時 快晴で珍しく暖か

場 やどりき水源林

スタッフ 海外青年協力協会、増田様他1名

参 小学生(新3年生と新4年生) 男子4名・女子9名

イ L山崎⑦、井出①、渡辺③、村井⑨、

松田、延命寺の境内から見上げるハーブ園の早咲き桜が今年はやっぴんく色に染まり、黄色と緑の菜の花畑も青空に映えて美しい。寒さ厳しい連日から抜け出て今日は暖かい一日でした。

リーダーの山崎さんから事前に作成したストラップの作り方を子供たちが集合する前に教えて頂く。

チームを4班に分け、依頼先の希望もありH20-21の成長の森ミツマタ群落を目指して歩く。後沢出合では水の冷たさに驚いたり、ヒノキとアスナロの葉の比べっこをしたり、水棚堰堤を見下ろす道、流木を集めた丸木橋で寄沢を渡る緊張感を味わいながらミツマタ群落に到着。2~3分咲きでしたが、1万円札の花に感動。

午後はストラップづくり・丸太切りでどんぐり工作、お土産どっさり超満足度100%、全員がまた参加したいと挙手。素直な子供たちとの活動で楽しい一日でした。

<反省会では>

\*今回はこんなこともあるかと渡辺さんがドリルを持参し、井出さんが、中島さんから以前頂いていたクラフト材料を持参していたおかげでスムーズに事が運びましたが、参加インストラクターがクラフトづくり不得手だったり、材料がないことも考えると事前に会場で集める必要があるのではないだろうか。

あまり個人負担にならぬように・・・。

\*依頼元の要望が出来る時と出来ない時がある。

受ける側も(NW活動担当者・財団)在庫チェックなど事前にする必要がある。

\*場合によっては材料費の請求が発生しても良いのでは。

(記 9期 村井)

### 校庭の樹木調査と樹名板づくり

日 3月7日(水)

場 小田原市立早川小学校

参 6年生 35名

イ 野田⑧、

卒業記念として校庭の樹木を調べ樹名板を作るお手伝いをしました。落葉樹はすっかり葉を落としており、枝も高く冬芽の観察も出来ずに苦労しました。ところで、学校の正門の脇に太さ30cm程のバクチノキ(ピランジュ)があり沢山の果をつけていました。一度見ていたので名前は分かり助かりましたが、この木の名前を知っている生徒がいて、「この近辺では珍しくないよ」と言われたことにはビックリでした。樹木を調べながら、スギの木は?ヒノキは?と木を覚えてもらい、なぜ落葉樹と針葉樹とがあるの?樹木が持っている独特の匂いは?なぜスギが花粉症の原因?などの話しを織り交ぜながら樹木調査を行いました。そして、樹名板は夏に学校林の間伐を行なったときの材を利用してシュロナワで幹につけることにしました。

小田原市では市民を交えた森林体験（環境教育：ブリの森づくり）を行っており、大人のグループだけではなく、小学校でも森の手入れや、木材を使った活動が盛んに行われています。（記 8期 野田）

<ブリの森づくり>

\*昭和28年ごろ相模湾一帯ではブリが沢山とれたそう  
で、小田原市では小田原の森林を健全にしてブリを戻  
そうと森林づくり活動をしています。（広報部）

### パートナー林保全活動（間伐）

**日** 3月7日（水）9時～14時 曇り  
**場** やどりき水源林 恵水の森（めぐみのもり）  
<鈴廣かまぼこ（かながわ水源の森林づくり）  
体験実習林>

**参** 鈴廣社員 8名  
**県** 自環保 水源の森林推進課 内田様  
**イ** L飯澤⑨、加藤⑥、

かまぼこ作りに欠かせない「水」と「魚」は森林によ  
って育まれており、その森林の保全活動を通して間伐の  
大切さを社員に知ってもらうとの趣旨で間伐体験を行っ  
た。日本の人工林の現状と間伐がなぜ必要なのかを間伐  
開始前に講義し、ほぼ全員が初めての体験なので間伐の  
基本的な事を説明しながら、伐倒木周辺整備、伐倒方向  
決定、ロープ掛け、受け口、追い口、伐倒、掛木処理、  
枝打、玉切りと作業を進めた。

若い男性4人、女性4人のメンバーで、責任者の男性  
1人を除いては全員初めての体験で説明も真剣に聞き作  
業にも熱心に取り組み、伐倒の瞬間には歓声を上げ感動  
していた。後処理、道具の手入れもテキパキと行い、昼  
食は支給の弁当を全員一緒に食べ、歓談し、伐倒した木  
で作ったヒノキのコースターをお土産に、来年もぜひ参  
加したいと言って帰って行った。指導する方にとっても  
爽やかで気持ちの良い団体だった。（記 9期 飯澤）

### 真竹の伐採

**日** 3月31日（土）10時～13時 荒天  
**場** 県立21世紀の森  
**参** 生長の家神奈川県教化部 古村様他 18名  
**スタッフ** 足柄グリーンサービス 太田様他1名  
**イ** L小沢⑨、村井⑨、

昨年の下草刈りも雨、基本的に雨天決行を希望されて  
る依頼先なので、荒天ながらリーダー判断で決行する。  
若い女性が今回は多く2班に分けて森林館の下の真竹林  
へ下る。緊張感がなく、賑やかすぎる一行に私たちの方  
が緊張する。竹林は台風の影響でかなり荒れていた。又  
古い竹が放置されていたり、へしまがった状態の竹が  
かなりあり、足元の整理から始める。男性より女性の方  
がはるかに活発に作業したのは驚いた。鋸の引き方  
や竹筒で枝葉の落とし方、そして玉切りに一生懸命に挑  
んだ。荒天の作業だったが竹林のおかげであまり濡れず  
風もさえぎってくれて無事終了した。作業後の歩きやす  
くなった竹林を振り返り一同感激していた。

（記 9期 村井）

### パートナー林保全活動

**日** 2月19日（日）  
**場** やどりき水源林  
(日揮グループ・自然ふれ合いの森)

**参** 日揮グループ社員 5名  
**イ** 浦野⑧、

今回活動場所で昨年10月に伐倒した直径25cm後  
、長さ20m超のスギ2本を利用してベンチを作る。  
これは、現場が急斜面であるため放置しておくのは危  
険との判断に加えて何か再利用したい、ことからの企  
画。作業は、先ず2m弱の長さでの玉切り、その後、  
ロープなどを利用して林道に降ろす。それを加工して  
林道沿いに設置。防腐剤を塗布して完成。玉切りや加  
工は、参加者が手鋸で、浦野がチェーンソー使用で効率  
的に実施。参加の皆さんの作業での連携や安全意識は  
高いものでした。ベンチ作りの構想から設計は日揮様  
で準備し、ほぼその通りに完成、笑顔の記念撮影で終  
了しました。（記 8期 浦野）

### パートナー林保全活動（間伐）

**日** 4月12日（木）10時～12時半 晴れ  
**場** やどりき水源林 神工舎エリア他  
**参** 日揮グループ新入社員研修 67名  
**スタッフ** 日揮グループ 坂井様、西山様他2名  
**県** 自環保 水源の森林推進課 内田様、後藤様  
**イ** L三浦⑧、佐藤⑤、加藤⑥、斉藤⑥、伊藤⑦、  
小野⑦、黒沢⑧、阿部⑧、小沢⑨、内野⑨、  
村井⑨、大澤⑩、松本⑩、福島⑩、

前日の雨も止み作業を行うには打ってつけの天気  
に恵まれ、インストラクターもやる気満々。1班5～  
6名13班編成。各班毎に道具を整え、三浦リーダー  
からの安全第一をモットーに詳細ミーティングが行  
われました。参加者も揃い 挨拶の後体操、場所を変  
え集合写真、やどりき神工舎と空エリア上部の間伐場  
所に向かう。外国人を含め全員が初めての体験です  
が、ニュー社会人という若さ、活力が急斜面の現場で  
もスムーズに事が運びました。これも職場で事前の間  
伐についての説明を受けて作業に入ったからだと思  
います。

間伐に専念し2～3本の班もあれば、1本でコース  
ター作りの班もあり又檜の香りに感嘆の声を上げた  
り自然との関わり等各班毎に有意義で貴重な体験の  
時が過ごせたと思います。道具の後片付けを行い半日  
の行動を終了しました。

（記 11期 福島）



**やどりき水源林  
ミニガイド**

**4月のトピックス**

待ちに待ったミツマタの花が4月中旬や  
っと満開になりました。ミツマタの花ご  
案内で森の案内人は大忙しでした。

**5月の水源林**



色々な種類のウツギの花々がどんど  
ん咲き出します。上の写真は  
＜バイカウツギとカラスアゲハ＞

**「森の案内人」情報**

●実施時間：毎週土曜・日曜・午前 10  
時・午後1時1～2時間程度（12月1月  
2月休止）

●集 合：水源林入口ゲート前

●内 容：森林インストラクターが自然観察  
にご案内します。森林のしくみ・手入れ  
などについて説明いたします。

参加自由、参加費無料

\*10人以上の団体は事前に下記までご  
連絡ください。

●問合せ：（公財）かながわトラストみ  
どり財団 TEL:045-412-2255

携帯：090-8580-5348

fax:045-412-2300

●ホームページ：<http://www.ktm.or.jp>

●E-mail:midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松  
田駅下車、富士急湘南バス「寄（やどり  
き）」行き乗車約25分。バス下車後（案  
内板あり）川沿いに徒歩35分。  
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

**イベント情報 & ご案内**

**レッツゴー！ 丹沢・大山  
やまなみ登頂スタンプラリー**



～H25・3月31日まで  
スタンプ集めて「四季の丹沢手ぬぐい」をも  
らおう！ 詳細はWebで

<http://www.kankou-hadano.org/tanzawayamanami/>  
スタンプは鍋割山荘・丹沢山みやま  
山荘・塔ノ岳尊仏山荘・大山下社・大倉どん  
ぐりハウス・伊勢原駅舎内観光案内所

**◇森のなかま原稿募集◇**

会員・購読の皆様からの原稿を募集し  
ています。＜広報全般についてのお  
問い合わせ＞

小沢章男まで

Mail:a.ozawa@tbz.t-com.ne.jp

Tel:0467-52-2191

**送り先**

＜①電子配信担当＞ 森 義徳

〒232-0053

横浜市南区井土ヶ谷下町16-3-202

Tel/090-5433-7784

Mail:shinrin.inst.denshihaishin@  
mail.com

＜②メール・手書き原稿送り先＞

【本誌】村井正孝

〒226-0002

横浜市緑区東本郷6-22-1-420

Tel/Fax:045-476-4112

Mail:murapu60dai@yahoo.co.jp

【別冊】水口俊則

〒250-0871

小田原市下堀123

Tel/Fax:0465-42-7240

Mail:minagold109@plum.plala.or.jp

【CCで】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町3-7

Tel/Fax:046-825-9281

Ma:l2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けてます。

**編 集 後 記**

★「猛パワーなんてとんでもない。12  
期を代表する淑女3名です。  
したたかに粘り強く原稿をお願いし  
ていきたいと思っていますので  
皆様よろしくご協力のほどお願い致  
します。」 (永松)

★「「やりたい事やったもん勝ち青春  
なら(・∀・)」を地で行く12期です。  
情報 IT 化のお手伝いに参上しまし  
た。どうぞ宜しくお願い致します」  
(赤崎)

★第一声：  
PCは今やテラ(10の12乗)の時代、  
私はキロ(10の3乗)の感性の乏しい  
世代です。でも、尺貫法⇔メート  
ル法⇔S I単位の変換や無量大数を  
知っている数少ない世代です。  
ジェネレーションギャップのインタ  
ープリターとして気張らずやってい  
きます～～。(11期 松本)

★「会報発送作業後の飲み会を楽し  
みに2年間頑張ります。宜しく  
(11期 徳岡)

★「面白そう！と思ったら首を突っ  
込んでしまう、少々落ち着きのない  
12期です。広報部活動では縁の下の  
エネルギーになろうと思います。よ  
ろしくお願いいたします。」(加藤)

☆今月の編集後記はたのもしい新広  
報部員の第一声です。(村井)

**◇年間購読のお申し込み**

「森のなかま」年間購読をご希望の方は、  
郵便局備付けの郵便振替を利用してお申  
し込みください。

郵便振替口座00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで購  
読料年2000円をお振込みください。  
振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記  
してください。

振替用紙到着の翌月号から12回/1年  
間お届け致します。

(頒 価 200円 送料共)

編集人：村井正孝

事務局：竹島 明、

広報部：小沢章男

水口俊則 森 義徳 真貝 勝

鈴木朗 鈴木弘弘 大塚晴子

影の仕掛け人 松本 保 徳岡達郎

永松 裕子 赤崎さほり 加藤愛子



**新緑のやどりき水源林で野鳥観察しよう！**

**5月10日～16日**

**愛 鳥 週 間**

**山 麓 の オ ア シ ス**

お気軽にお立ち寄りください。

**お食事処** 小田急 新松田駅  
踏み切り際

緑の募金箱協力店

**こ ま ち**